

当院で同種造血幹細胞移植を受けられた方へ

平成 30 年 9 月 26 日

倉敷中央病院血液内科

主任部長 上田恭典

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究は倉敷中央病院の医の倫理審査委員会の承認を得た上で、病院長の許可を得ています。研究対象者に該当する可能性のある方で診療情報などを研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	造血幹細胞移植後血栓性微小血管症 (TA-TMA) の リスク因子の同定に関する臨床研究
当院の研究責任者 (所属)	上田恭典 (倉敷中央病院血液内科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	酒井和哉 奈良県立医科大学輸血部
本研究の目的	同種造血幹細胞移植後の合併症である移植後血栓性微小血管症 (TA-TMA) の発症時に、ADAMTS13 および von Willebrand 因子を含む血栓止血因子がどのように変動しているかを明らかにする。
研究実施期間	2017 年 12 月より 2022 年 3 月まで
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さん 2006 年 9 月から 2017 年 10 月までに当院血液内科で同種造血幹細胞移植を受けられ、かつ臨床研究「同種造血幹細胞移植早期における、ADAMTS13 活性の推移と移植前処置に関する前向き検討」への参加を同意された方</p> <p>●利用する情報 上記臨床研究参加時に採取した採血検体および診療情報データ</p>
個人情報の取り扱い および研究の開示	研究の実施および結果報告に際して、患者さんを第三者が特定できるような氏名や住所などの個人情報は匿名化され、一切公表されることはありません。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません。
お問い合わせ先	倉敷中央病院血液内科 主任部長 上田恭典 TEL 086-422-0210 E-Mail ueda-y@kchnet.or.jp